

委員会視察成果報告書

令和8年8月24日

犬山市議会議長

議員名 丸山幸治

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和8年8月19日(水)
(2) 視 察 地	宇治市観光センター
(3) 視察の種類	常任 特別 委員会 (建設経済委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	・宇治市における鵜飼事業の運営主体は観光協会と有限会社宇治川観光通船。市は年間100万円の補助をし、観光協会は鵜飼事業費用として宇治川観光通船に100万円ほど支払っている。 ・平成29年頃に宇治川が改修され水位が上がりやすくなり休業が増えて売上は大きく減少した。年間1200～3000万円程度。 ・運営会社は役員や従業員が20名ほどいるので、ほとんど給与は謝金や寸志という程度で、最近は最低賃金程度を確保。 ・人口う化は担当者の付きっきりの世話が必要で担当者に大きく依存している。現在14羽のうち10羽が人口う化のもの。 ・放ち鵜飼を試行しているが、商用としては成功していない。 ・現在100周年記念事業に、子供鵜匠体験などを実施、20名程の参加者に好評を得ている。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	・文化としての保存の必要と観光資源としてのバランスを市政が示すべきであり、資金面や人的な支援を拡大すべき。 ・鵜匠や船頭など危険を伴う仕事にボランティアなどでなくしっかりとした職業としての地位の確立をすべき。 ・人口う化などの現実的な可能性を検討しては。 ・子どもや市民向け参加型の鵜飼イベント、他市も参考すべき。

